

『ゆとりと活力、そして調和のとれた「幸田」のまちづくり』

さこう弘康

町政レポート



2010.10月 No.16

発行：さこう弘康 後援会

〒444-0193 額田郡幸田町大字芦谷字丸山 5 TEL 0564-56-7727 FAX 0564-56-7918

～ご挨拶～

皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

「猛暑、残暑」と話題が多かった今年の夏でしたが、本格的な秋を迎え爽やかな季節となりました。

この九月議会では、一般質問に登壇しましたので、その内容の中ほどにご報告させていただきます。

今後も、皆様の声をしっかりと受け止め、町政にお届けしてまいります。皆様の益々のご活躍とご健勝を心からご祈念申し上げます。

幸田町議会議員 酒向弘康

8月22日、町長選挙・・・「大須賀町長」

熱く激しい戦いとなった町長選挙は、8月22日投開票され、元副町長「大須賀 一誠」氏が当選されました。得票数は、9680票でした。投票率は60.79%であり、前回の53.48%を上回ったものの、7月11日の参議院選挙の68.99%を下回る結果となりました。

新町長には、町民との約束を実現し、信頼の輪を広げて「安心・安全なまちづくり」、「活力あるまちづくり」を推進されることを期待します。

9月議会 開催 (9月10日開会～10月4日閉会)



平成22年 第3回 幸田町議会定例会（9月議会）が、9月10日に召集され、10月4日までの間（会期25日間）で開催されました。一般質問では、8名の議員が質問に立ち、単行議案9件（内報告4件、承認5件）、補正予算関係9件、決算認定関係10件、計28件が上程され原案どおり可決しました。また陳情1件を審議し採択しました。

《議案》

- ・財政健全化判断比率等について
- ・副町長の選任について
- ・教育委員会委員の任命について
- ・職員の勤務時間、休暇等、条例の一部改正
- ・消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- ・火災予防条例の一部改正
- ・国民健康保険条例の一部改正等
- 《補正予算関係》
- ・一般会計及び、特別8会計補正予算
- 《決算認定関係》
- ・平成21年度一般会計歳入歳出決算認定

～皆さんに直接関係する議案の説明～

<副町長の選任について提案>

副町長に、前総務防災課長の「成瀬 敦」氏（昭和31年生まれ53歳）を選任し、全員賛成で同意されました。内部若手登用で職員の活性化が期待されます。

<平成21年度決算認定>

- ・歳入総額：146億4,013万円（対前年度2.2%増）
- ・歳出総額：139億1,042万円（対前年度1.3%増）
- 【主な歳入】町税80億1,248万円（対前年度7.8%減）
町民税26億5,502万円（対前年度32.1%減）
- 【主な歳出】総務費23億0,318万円（対前年度76.1%増）
定額給付金5.5億円、新駅関係2.2億円等

「行政も議会も住民のためにあります。」
私もこれを常に念頭におきながら、努力を続けてまいります。



「私の提案」実現・・・「事業仕分け」導入

3月、9月議会の一般質問で答弁引き出す！

私は、今年3月議会の一般質問で「事業仕分け」の導入を提案し、「前向きに導入を検討する」という答弁を受けました。全国では、「事業仕分け」を導入する自治体が増え続け、愛知県内でも今年に入り、6月に高浜市、8月に常滑市が実施。安城市長も導入を表明されています。今9月議会で、新町長より、早い時期に「導入する」との答弁を引き出すことができました。

幸田町の財政状況

急激な税収の落ち込みにより、財政の豊かさを示す、「財政力指数」が、昨年の1.47から1.15と大きく落ち込んできています。経済の動向や、景気の先行きも不透明であり、雇用の悪化や高齢化により、社会保障費の増大も予想され、大変厳しい状況です。



= 私の思い =



事業仕分けは、本来は「議会が行うべき仕事であり必要ない」という声もあります。

しかし私は、議会は行政に対し、政策・施策の提案、提言をする場であり、「事業仕分け」を通じて、施策のあり方や考え方に対し住民に関心を持ってもらい参加できる仕組みをつくる必要があると思います。

質問：どう進める「事業仕分け」！

町長答弁：公開しながら、徹底して進める

所信表明に「徹底してムダを省き、ピンチをチャンスに変える」とある行財政改革について問う。

Q1：所信表明で示した「事業仕分け」の思いは？

A1：混迷が続く中、自治体が生き抜くためには、町民の人たちに現状を見てもらい判断する材料をつくるのが大切。

Q2：「事業仕分け」は経費を浮かせ、それを捻出する手段なのか？
町民・職員の意識改革のための手段か？

A2：町民・職員の意識の改革が一番だと思っている。

Q3：「事業仕分け」の実施時期は？いつの予算から反映されるのか？

A3：早期実施を目指したい。次年度予算に計上し、実施していく。中日新聞(2010.09.14)より

Q4：住民の声を聞き「本当のムダ」を見極めた推進をすべき。

A4：公開しながら、決断をしていく。

住民の声を聞き「本当のムダ」を見極め、「事業仕分け」の早期実施を！

【幸田町】再開。伊藤宗次、丸山千代子(共産)大須賀好夫、大嶽弘(清友会)水野千代子(公明)酒向弘康(無所属)の6氏が一般質問した。主な答弁は次の通り。
町長の政治姿勢と公約実現性 愛する幸田町を幸せな町にするため、先例踏襲主義を改める。事業仕分けを行い、機動力のある町政を実現する。

きのこの議会

質問：「産業振興策」は緊急課題だ！

町長答弁：新産業の活性化を進める

公約にある「町経済を支える産業の活性化と産業基盤の充実」について問う。

Q1：税収を伸ばす「自主財源確保」の考え方は？

A1：徹底的な行政改革と企業・農業振興、新規産業の誘致と考える。

Q2：「企業誘致や新産業創造への取り組み」の実績と成果は？

A2：本町の歴史は企業誘致の歴史。これが地域経済を活性化した。

Q3：「計画的な工場用地の確保や手立て」の考えは？

A3：企業誘致推進のため、本町の特色である交通アクセスの利点を活かし、環境整備を進める。

Q4：町が目指すべき「定住化施策」の考え方は？

A4：公共交通機関、道路アクセス環境の整備を進め、魅力あるまちづくりを進めていく。

産業基盤の充実を進め、さらなる「産業振興」と「定住化施策」を！

データーで見る幸田町の“財政力”

県内 第10位 / 全57市町村中

愛知県17市町が交付団体へ

(2010年度予測)

税収が豊かで、国から地方交付税交付金をもらわない不交付団体()だった名古屋市など、愛知県内の17市町が交付団体に転落する見通しです。

幸田町をはじめとする、自動車関連の産業が立地する三河地方の市町では、トヨタショックの影響で法人税収入が大きく落ち込み、財政状況が悪化しています。愛知県も2年連続の交付となり都道府県で不交付は、東京都だけとなる見通しです。



()用語説明：不交付団体

税収が豊かで財政の健全性を示す「財政力指数」が1を超え、国から地方交付税の交付を受けない自治体のこと。財政力指数は、指数が高いほど財源の余裕度の目安。

平成22年度財政力指数

速報値

単年度順位		H22	H21	増減
1	飛島村	2.26	2.59	0.33
2	東海市	1.31	1.47	0.16
3	刈谷市	1.22	1.49	0.27
4	豊山町	1.21	1.31	0.10
5	碧南市	1.19	1.42	0.23
6	豊田市	1.19	1.62	0.43
7	小牧市	1.18	1.40	0.22
8	安城市	1.16	1.43	0.27
9	武豊町	1.15	1.25	0.10
10	幸田町	1.15	1.47	0.32
11	みよし市	1.13	1.71	0.58
12				
13				
14				
15	西尾市	1.02	1.20	0.22
16				
20	名古屋	0.99	1.06	0.07
21	岡崎市	0.99	1.13	0.14
57		0.20	0.22	0.02
	県計	0.98	1.10	0.12

幸田町 1.15

データーで見る幸田町の“安全”

岡崎警察署調べ(平成22年1月~8月末)

防犯

学区別分析

交通安全



学区	総数	前年比	侵入盗	乗物盗	非侵入盗
坂崎	22	-5	4	2	16
幸田	55	-8	4	7	44
中央	25	-19	6	4	15
荻谷	50	-4	1	33	16
深溝	49	0	6	13	30
豊坂	26	-6	7	5	14
合計	227	-42	28	64	135

学区	件数・人数	総数	前年比	死亡	重症	軽傷
坂崎	件数	22	5	0	0	22
	人数	28	7	0	0	28
幸田	件数	38	1	0	2	36
	人数	44	1	0	2	42
中央	件数	24	8	0	2	22
	人数	29	9	0	2	27
荻谷	件数	17	-8	0	0	17
	人数	21	-16	0	0	21
深溝	件数	25	-6	0	0	25
	人数	32	-5	0	0	32
豊坂	件数	15	-3	0	0	15
	人数	20	-4	0	0	20
合計	件数	141	-3	0	4	137
	人数	174	-8	0	4	170

~高めよう「地域の力と自主防衛」~

幸田町は「安全・安心なまちづくり条例」を策定し、平成22年1月1日より施行。町内年間犯罪発生件数は、平成15年の744件をピークに減少しつつあり、地域における自主防犯活動が効果をあげていると思われます。

~高めようモラル 守ろうルール~

幸田町内での交通死亡事故0件は「700日」を達成しました。(過去の記録:659日間)しかし歩行者や自転車での大きな事故が発生しており、決して安心できる状況ではありません。



「安心して、安全に暮らせる町づくり」の実現!

トピックス

「ようこそ！幸田町へ」(8/29~9/11)

幸田町とカンボジア王国とのフレンドシップ継承事業の一つとして、カンボジアの青年を本町に招へいして、交流を深める目的の事業です。

今回は、KIA(幸田町国際交流協会)が中心となり、4人の青年が、行政・産業・文化・教育の現場を見学研修をしました。

私が担当した8月31日、町内企業見学を終え、蒲郡の海岸に行ったときの開放的な歓声と笑顔が印象的でした。カンボジアに帰国後、両国友好の架け橋となってもらえることを期待しています。



「安全・安心なまちづくり」を望む声が 8 割強！

私に寄せられた「皆さんの声」263件を分析

「くらしの相談」から

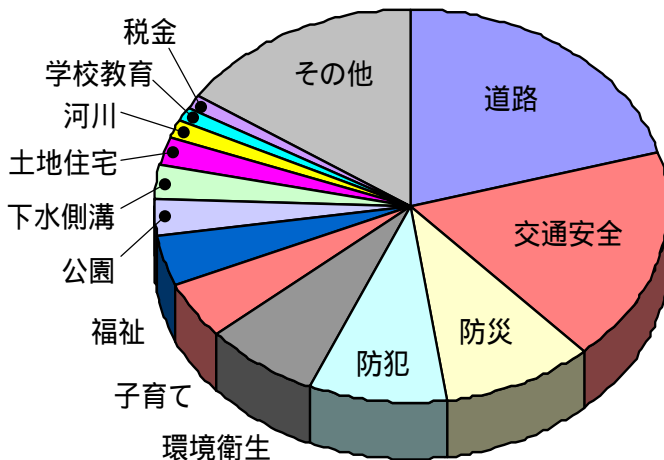
町議会議員となり、4年目を迎えました。この間、地域の方々から、私に寄せられた要望やご意見などの「くらしの相談」は、260件を超え、さまざまな「声」を聞かせていただきました。道路・交通安全・防犯・防災などの「安全」に関するご要望が、5割を超えています。さらに、福祉・子育て・教育・環境衛生など「安心」に関する「声」を合わせると8割以上あり「安全・安心なまちづくり」を望む声の大きさを改めて確認いたしました。今後も、「みなさんの声」を行政に反映するよう議員活動に邁進してまいります。

くらしの相談内容

	項目	小計
1	道路	54
2	交通安全	47
3	防災	25
4	防犯	22
5	環境衛生	19
6	子育て	13
7	福祉	11
8	公園	8
9	下水側溝	7
10	土地住宅	6
11	河川	4
12	学校教育	3
13	税金	3
14	その他	41
	合計	263

私のモットー

「一番早い返事は、行動である」



くらしの相談 項目別内訳 (平成19年4月~平成22年8月)

「くらしの相談」

直接電話でもお気軽に！



地域での困りごと、町政に対する ご意見・ご要望など、お気軽に「さこう弘康 くらしの相談室」をご利用ください。

連絡先 (事務所) Tel : 0564-56-7727 Fax : 0564-56-7918



ホームページは「さこう弘康」で検索してください。

さこう弘康

検索

メールもご利用ください。

お願い：町政レポート配布するにあたり、氏名や住所の間違い、変更がありましたら上記までご連絡ください。